令和５年７月１２日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

資料５－７

令和４年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【釜戸町
まちづくり推進協議会】

●実績の概要

事業数	３事業
事業費総額 （決算時）	１，９８６，３４２円
交付金決定額	９８９，０００円
（うち加算額）	（０円）
交付金決算額	８９７，０００円
交付金返還額	９２，０００円

●添付資料

・実績報告書　Ｐ１　～Ｐ１０
・事後評価調書　Ｐ１１～Ｐ１３
・参考写真
　（令和４年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ１４～Ｐ１５

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和 5年 4月10日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市釜戸町2673番地の1
名称：釜戸町まちづくり推進協議会
代表者氏名：会長　足　立　弘　文

夢づくり地域交付金実績報告書

令和4年4月27日付け瑞浪市指令第54号の4で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、瑞浪市夢づくり地域交付金交付規則第11条の規程に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

事　業　名
かまど活性化・魅力発信事業
青少年健全育成事業
地域環境美化事業

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し
５．契約書の写し（１件の支払額が５０万円を超える場合に限る。）

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

かまど活性化・魅力発信事業

２　活動報告（活動内容等）

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために夏祭りは花火のみの実施となってしまったが、沢山の町民の方々が公民館に集まり3年ぶりの花火を観賞しました。釜戸町にとって夏祭りは重要な行事の為、来年度こそ開催方法など工夫を凝らし町民の皆さんが挙って参加できるものとし、釜戸町の活性化と住民の活力、意識の高揚を図りたいと思います。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

・コロナ感染症拡大防止の為、花火のみの実施となった。公民館での見学者150名

４　事業に要した経費（総事業費）

1,257,492 円

５　夢づくり地域交付金充当額

307,000 円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月			
７月	花火打ち上げ 夏祭り準備	委託料	950,000 307,492
８月			
９月			
１０月			
１１月			
１２月			
１月			
２月			
３月			
合計			1,257,492

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	307,000	307,000	
自主財源	1,000	492	
その他（花火打ち上げ協賛金）	1,000,000	1,054,000	
合　　計	1,308,000	1,361,492	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
花火大会	花火打上経費	委託料	1,000,000	950,000	
小計			1,000,000	950,000	
夏まつり経費	各種団体交付金	補助金等	105,000	104,967	
	会場整備費	消耗品費	42,000	41,322	
	ポスター、 広報誌印刷経費	印刷費	105,000	105,857	
	広告新聞折込経費	手数料等	5,000	6,484	
	ポスターデザイン謝礼	報償費	20,000	20,000	
	関係者飲食代	食料費	20,000	18,662	
	各種申請手数料	手数料等	11,000	10,200	
小計			308,000	307,492	
合　　計			1,308,000	1,257,492	

※花火打上協賛金と花火打上経費の差額残104,000円は次年度（令和5年度）へ繰り越します。

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

青少年健全育成事業

２　活動報告（活動内容等）

釜戸町では、平成27年度に和太鼓集団“青龍”を結成し、和太鼓を釜戸町の文化として育て、地域の活性化に繋げていくべく日々活動していますが、この青龍会員の技術向上のためプロ和太鼓集団”志多ら”による太鼓指導を3回行った。
釜戸小学校全校生徒に”志多ら”による太鼓指導ワークショップを開催し、「楽しい」「できる」という体験を通じて、ふるさとへの愛着をいっそう育むことができた。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

・プロ和太鼓集団“志多ら”による太鼓指導３回
・釜戸小学校の全校生徒にプロ和太鼓集団“志多ら”によるワークショップを開催

４　事業に要した経費（総事業費）

259,310 円

５　夢づくり地域交付金充当額

240,000 円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月	太鼓ワークショップ ばち10組購入 旅費 和太鼓集団“青龍”へのプロ指導委託 振込手数料	委託料 消耗品費 旅費 委託料 手数料等	100,000 20,000 5,000 44,000 770
７月			
８月			
９月			
１０月	和太鼓集団“青龍”へのプロ指導委託 振込手数料	委託料 手数料等	44,000 770
１１月			
１２月			
１月			
２月			
３月	和太鼓集団“青龍”へのプロ指導委託 振込手数料	委託料 手数料等	44,000 770
合計			259,310

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	240,000	240,000	
自主財源	26,000	19,310	
その他（　　）			
合　　計	266,000	259,310	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
指導経費	ワークショップ	委託料	110,000	100,000	
旅費	旅費	旅費		5,000	
用品費	太鼓用品購入	消耗品費	20,000	20,000	
指導経費	プロ指導	委託料	132,000	132,000	
事務費	振込手数料	手数料等	4,000	2,310	
合　　計			266,000	259,310	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

地域環境美化事業

２　活動報告（活動内容等）

・町民と釜戸町を訪れる人々に安らぎを与えるとともに、美しいまちづくりを推進するために町内のコミュニティ花壇用に花苗を春と秋に配布した。構成メンバーの高齢化により活動団体が減少傾向であったが、区長会を通しての呼びかけもあり、活動団体が令和３年度は１３団体から１７団体に、令和４年度は２０団体と増加した。
・地域学校協働活動の一環として小学校１，２年生と協働で苗の移植をした。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

・参加団体１７団体⇒２０団体に増加（東大島区、下切ﾌﾗﾜｰの会、大細区が新しく加入）
・小学生が地域学校協働活動で花苗移植活動に参加

４　事業に要した経費（総事業費）

365,540 円

５　夢づくり地域交付金充当額

350,000 円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月	花苗配布（苗の購入代金） 振込手数料	消耗品費 手数料等	182,000 770
７月			
８月			
９月			
１０月			
１１月	花苗配布（苗の購入代金） 振込手数料	消耗品費 手数料等	182,000 770
１２月			
１月			
２月			
３月			
合計			365,540

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	350,000	350,000	
自主財源	16,000	15,540	
その他（　　）			
合　　計	366,000	365,540	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
花苗配布経費	花苗購入経費	消耗品費	364,000	364,000	
事務費	振込手数料	手数料等	2,000	1,540	
合　　計			366,000	365,540	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　釜戸　地区

事業番号　1

事業名　かまど活性化・魅力発信事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		3
2	成果目標の達成度	成果目標	夏まつり開催　参加者数 500名	2
		実績値	夏まつり　花火のみ実施　参加者数 150名	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		3
4	地域の課題解決	課題の内容	夏まつりを活用した町の活性化	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		3
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				17

今後の事業展開の方向性	1 拡充　②継続　3 終了　4 廃止
意見・感想など	・夏祭りが花火だけの実施しかできなかったことが残念である。来年度はコロナ感染症が5類となり、感染者も落ちついてくると思われるので創意工夫して完全な形で夏まつりを実施したい。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　釜戸地区
事業番号　2
事業名　青少年健全育成事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	・釜戸小学校全生徒に太鼓によるワークショップを実施する。 ・釜戸小学校3年生のふるさと学習に太鼓を取り入れ青少年健全育成を図る。	5
		実績値	・釜戸小学校全生徒に太鼓によるワークショップを行った。 ・釜戸小学校3年生にふるさと学習として太鼓指導を3回実施した。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	太鼓指導を通して、青少年の健全育成を図る。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				26
今後の事業展開の方向性		1 拡充　(2) 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		釜戸町の文化として青龍の太鼓が広まることを願っている。また、釜戸小学校3年生の太鼓指導を地域学校協働活動として継続し、釜戸小学校全生徒にもワークショップを実施して青少年健全育成に力を入れてゆきたい。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　釜戸　地区
事業番号　3
事業名　地域環境美化事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	・町内企業団体にも参加を呼び掛ける。 ・地域学校協働活動として小学生もこの活動に参加する。	3
		実績値	・参加団体が17団体になった。 ・小学生低学年（1年生・2年生・3年生）が地域の花苗移植に参加した。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	・年齢の高齢化により参加団体が減少傾向にある。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				24
今後の事業展開の方向性		1 拡充　②継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		構成メンバーの高齢化に伴い参加団体が減少傾向にあり、危惧を抱いていた。そこで町内の企業団体にも参加の案内を出したり、区長会を通じて呼びかけをしてきた。その結果、令和3年度には17団体となり、今年度も17団体を維持することができた。また、地域学校協働活動として小学生がこの活動に参加することでふるさとを美しくしていこうとする心を培うことにつながることを願っている。		